

# いしかり ESD 通信

子どもたちとつくりよう！地球の未来



第1号(2015.10.15)

今年度、石狩市では環境省と連携し、市内の2つの小学校で ESD（持続可能な開発のための教育）の取り組みを進めています。ESD についてや市内での関連した動きを「いしかり ESD 通信」で紹介していきます。第1号では実証校の石狩市立厚田小学校と同双葉小学校の取り組みを中心にお伝えします。

## 「再生可能エネルギー」はどうして必要？

### 「考える力」を培う取り組み ～ 石狩市立厚田小学校

今年7月、石狩市厚田区では2基の風力発電の竣工式が行われました。石狩市立厚田小学校は、風車のネーミングに関わったことをきっかけに、5・6年生の「総合的な学習の時間」で「再生可能エネルギー」を教材とした授業を計画しています。

まずは6月に、先生方は「考える力」の意味を掘り下げ、「自分で疑問を見つけて、調べて、根拠を持って答えを示す力」と定義。この力を培う練習として、子どもたちは9月10日（木）の授業で「無人島にひとつだけ道具を持っていけるとする」という問いに取り組み、自分なりの理由をし

っかり考え、意見交流しました。授業はいよいよ、外部の風力発電の関係者等の協力を得て、生活とエネルギーの関わり

についての学びを展開していきます。



お互いの理由を聞き合い、グループで意見をまとめました

## 石狩の身近な自然って、どうなってるの？

### 自然を守る取り組み ～ 石狩市立双葉小学校



浸食された砂丘地帯の高低差を体感しました

石狩市立双葉小学校の5年生は「総合的な学習の時間」で「地域の自然環境」を学びます。石狩浜がその舞台です。

9月10日（木）、スクールバス2台で石狩浜へ移動。事前に石狩浜海浜植物保護センターから受けたレクチャーをもとに、先生が自然観察ガイドになりきって、生徒にクイズを出していきました。海から少し

離れた石狩灯台のなぞを解いた後、バギーカーが地面を大きくえぐった砂丘地帯に足を運び、人間の行為が自然環境へ与える影響の大きさを目の当たりにしました。

9月13日（日）には、現場から感じとった、身近な自然における「課題」をそれぞれの学習テーマとして設定しました。

今後は一人ひとりの課題意識を尊重し、私たちがどのように自然環境と向き合っていけばいいのかについて模索していきます。

# 「ESD」ってなんだろう？

## ●「持続可能」とは？

ESDとは「持続可能な開発のための教育」の略称です。まず「持続可能」とは何でしょう。

私たちの毎日の暮らしを考えてみましょう。どれくらい電気を使い、食べ物を食べて、水を飲んでいるでしょうか。どれくらいガソリンを使って移動し、ごみを出しているでしょうか。

世界や未来のことを考えてみましょう。地球上の誰もが幸せな生活を送ることができているでしょうか。また、私たちが上記のような暮らしをすることで、未来の世代の生活をどんどん圧迫するようなことは起こっていないでしょうか。

今、私たちには、地域を越え、時代を越えて、「続けていける」豊かな社会やライフスタイルの創出が求められています。

## ●「教育」はどう捉えるの？

「持続可能」な社会や地域をつくっていくため

には、私たちは何を、どのように学んでいけばよいのでしょうか。これまでと同じ方法でよいのでしょうか。

国立教育政策研究所のリーフレットでは「持続可能な社会づくりに向けた構成概念」と「学習指導で重視する能力・態度」が例示されています。これまでの授業とは別に、何か新しいことをするわけではありません。授業の目的に持続可能な社会の「概念（コンセプト）」を取り入れ、必要に応じて、培いたい「能力・態度」にあわせた体験活動等を組み入れることがポイントになります。

また、社会との関わり方を身につけるため、校外の関係者と積極的につながり、ともに学んでいくことも大切になってくると考えます。



# これからの環境省事業は？

自治体における ESD 推進方策を考えるため、環境省北海道地方環境事務所は今年度、「ESD 環境教育推進委員会」を設置、第 1 回会議を 7 月 22 日（木）に石狩市役所で開催。実証校の進捗状況や、市内の学校の「総合的な学習の時間」等

## 環境省事業に係る ESD 環境教育推進委員会

- |   |         |
|---|---------|
| ・（座長）北海道教育大学教育学部札幌校 准教授                     | 今 尚之さん  |
| ・石狩市教育委員会生涯学習部 参事                           | 濱本 賢一さん |
| ・石狩市環境市民部環境保全課 自然保護担当課長<br>兼 石狩浜海浜植物保護センター長 | 本間 博人さん |
| ・藤女子大学人間生活部人間生活学科 教授                        | 伊井 義人さん |
| ・特定非営利活動法人 ezorock 代表理事                     | 草野 竹史さん |
| ・ソーシャルベンチャーあんじょう家本舗 代表                      | 松田 剛史さん |

における ESD 環境教育活動の情報等を共有しました。第 2 回は 10 月 22 日（木）に開催します。

また、10 月 3 日（土）には、札幌市内で学校教育関係者を主な対象とした「学校教育×ESD ダイアログ」を開催し、22 名の参加がありました。11 月 3 日（火・祝）にも、学校教育関係者による学習会があるなど、平成 27 年度下半期に ESD

に関する多数のセミナーが予定されています。通信では、今後もさまざまな情報をお知らせしていきます。

過去作成したプログラムは HP で閲覧可能です



発行：環境省北海道環境パートナーシップオフィス ・ 石狩市教育委員会

編集：環境省北海道環境パートナーシップオフィス

〒060-0042 札幌市中央区大通西 5 丁目 11 大五ビル 7 階 HP : <http://epohok.jp/>  
TEL : 011-596-0921 FAX : 011-596-0931 Email : [epoh-webadmin@epohok.jp](mailto:epoh-webadmin@epohok.jp)